HOKKAIDO UNIVERSITY

| | |
|---|---|
| Title | 高校における「学校から職業社会への移行」関連プログラムの実態調査：カナダ・アルバータ州Jasper Place High Schoolのアンケート分析結果報告 |
| Author(s) | 岡部, 敦; Okabe, Atsushi |
| Citation | 公教育システム研究, 3, 127-148 |
| Issue Date | 2003-12 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/22076 |
| Type | departmental bulletin paper |
| File Information | 3_P127-148.pdf |

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

# 高校における「学校から職業社会への移行」関連プログラムの実態調査
## ――カナダ・アルバータ州 Jasper Place High School のアンケート分析結果報告――

岡部　敦 *

# The Survey of High School Programs related to School-to-Work Transitions:
## Result of the Questionnaire to Jasper Place High School, Alberta Canada

Atsushi Okabe

**目 次**

はじめに
1　アンケートのねらいと調査項目の解説
2　アンケート集計結果
3　集計結果のまとめ
《参考文献》
《参考資料：配布したアンケート用紙》

## はじめに

本稿は、2003年6月にカナダ・アルバータ州エドモントン市の公立高校を対象とした「学校から職業社会への移行（以下、STW）」関連プログラムに関するアンケート調査の結果を紹介し考察を加えることを目的とする。

日本国内では、すでにアメリカで展開した学校から職業への移行プログラムが紹介されている。岩木(2001)は、このプログラムの中心を青年徒弟制度の導入としバブルの崩壊と同時に失敗に終わったとしている。しかし、STWプログラムは、単なる徒弟制度の導入だけではない。Grubb(1996)は、STWプログラムの5つの要素として、①アカデミック教育②アカデミック教育と職業教育の統合③Work-based education と School-based instruction の統合④全てのプログラムにおける次の教育及び訓練の段階への連続性⑤文脈学習を含む Applied Teaching Method およびチーム・ティーチングの導入をあげている。すなわち、STWプログラムは、高校卒業後にすぐに就職を希望する生徒のための改革ではなく、大学進学希望者を含む全ての生徒を対象としたものである。また、その改革の範囲は、職業教育だけではなくアカデミック教育の改革を含むものである。

カナダ・アルバータ州において90年代を中心に展開してきたSTW関連プログラムは、アメリカにおけるSTWの取り組みに影響を受けた部分が少なくない。これまで州学習省を中心として、職業教育プログラムの改訂、オフキャンパス教育の推進、アカデミック教育の改革、キャリア学習の推進、高校と中等後教育機関および職業社会との接続重視などの施策が進められてきた。これらの改革が生徒にどのような効果をもたらしたのかについて検討することは重要であると考える。

## 1　アンケートのねらいと調査項目の解説

アルバータ州におけるSTW関連プログラムが、実際に生徒の職業及び進路選択にどのような影響を及ぼしているのか、また、履修した生徒がそれぞれのプログラムをどのように評価しているのかを調査することがねらいである。更に、これらの結果からSTWプログラムの高校教育改革における役割を検討する。以下に、今回のアンケ

* 北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程（教育行政講座）・北海道札幌手稲高等学校教諭

Key Words: School-to-Work Transitions,　高校教育、進路探求学習、職業教育、カナダ

ートで取り上げた質問項目に関連する次の７つの事項について簡単な解説を記す。

**（1）中等後教育機関(Post-Secondary Institution)**

アルバータ州における中等後教育機関は、主に３つに分類することができる。１つ目は、テクニカル・インスティチュートである。これは、修業年限は１年から３年までとプログラムによって異なる。主に、修了後に職業社会で必要となるスキルを習得することが目的である。現在、州内には、Northern Alberta Institute of Technology (NAIT)と Southern Alberta Institute of Technology(SAIT)の２つがある。いずれも州立の教育機関である。後で説明するアプレンティスシップの中には、一定期間この教育機関で研修を受けることが求められるものもある。２つ目は、カレッジである。通常は２年間の修業年限であるが所属するコースによって異なる。学習内容はアカデミック教育と職業スキルの両方を含んでいる。高校卒業後に一旦カレッジに進学し移行プログラム(Transfer Program)によって大学３年次に編入するコースを取る例も多く見られる。移行プログラムは、テクニカル・インスティチュートにもあるが、利用する学生は少ない。現在、州立のカレッジは15校あり、その他に私立のカレッジが７つある。３つ目は、４年制大学である。現在、州立の大学は４校あり、そのうちの一つは通信制も兼ねている。私立の大学はアルバータ州には存在しない。

いずれの中等後教育機関に進学する場合にも、入学必要条件が示されている。州で発行される高校卒業資格に加えて進学を希望する学部やコース、プログラムに移行するに当たって、高校で必ず履修しなければならない科目が示されている。大学の場合は、それに加えて高校の学習成績による入学生の選抜が行われる。

**（2）ポートフォリオ**

進路探求学習で生徒が作成したキャリア・プランや各教科で与えられたレポート、ジョブ・シャドウやオフキャンパス教育などに参加した際の感想文などを専用のファイル（ポートフォリオ）に記録するプロジェクトである。JP校では、Career Directions とよばれる３年間の連続したプログラムにおける学習活動として位置づけられている。第10学年では、全員が必修科目として履修する英語と社会の授業でポートフォリオの作成を中心とした進路探求学習が実施され、それぞれ１単位合計２単位を取得することになっている。第11学年では、次に記述するCALMの学習活動の１つとなっている。また、第12学年では、選択科目としてポートフォリオの完成を目指したプログラムが設定されている。

**（3）Career and Life Management (CALM)**

1985 年に州教育省(Alberta Education)によって発行された'Secondary Education in Alberta: Policy Statement'で新たに高校卒業資格取得に必修として加えられた科目である。対象学年は第11学年で、３単位が必修となっているが、2002年の改訂で６単位まで増やすことが認められている。ポートフォリオの説明で触れたように、JP校では、Career Directionsの一環として位置づけられている。内容は、次の３つから構成されている。①Personal Choices:健康の感情、心理的、知的、社会的、精神的、身体的な側面を理解し個人の幸福(well-being)の維持に適用する②Resource Choices：個人の価値と目標を反映した財産およびその他のリソースを使用するための価値ある決定をすると同時に、自分自身および他者に対する義務を果たす。③Career and Life Choices：自己管理及び生涯を通じたキャリア開発のプロセスを適用する。これら３つの分野について学習するとともに、ポートフォリオの作成も含まれる。JP校では、CALMの履修によって６単位が与えられる。

**（4）Career and Technology Studies (CTS)**

1989 年の州教育省による実業教育反省(Practical Arts Review)に基づいて開発されたプログラムである。それまでの職業教育プログラムであるPractical Artsは、高校卒業後すぐに就職を希望する生徒のための準備が主な目的であった。実業教育反省で大学進学を希望する生徒も含む全ての生徒を対象とした新たなプログラム開発の必要性が指摘された。その流れを受けて、Career and Technology Study(CTS)は、91年にその作成が開始され94年に一部施行され、97年に完成した。内容は、モヂュール（Module:単元）とストランド（Strand:学習領域）

から構成される。モヂュールは、１単位毎に細かく示された学習内容で、ストランドは、複数のモヂュールをレベル（初級、中級、上級）およびテーマごとに整理して構成された学習領域のことを意味する。なお、モヂュールという用語は、99年のカリキュラム改訂でコース(Course)という用語に変わったが、この調査では学校で広く使われているモヂュールという用語を使用している。現在、州学習省(Alberta Learning)によって677のモヂュールと22のストランドが示されている。CTSプログラムは、芸術科目、第二言語と同様に選択科目となっている。このプログラムの詳細については、岡部(2001)を参照のこと。

（5）オフキャンパス教育（RAP以外）

学校外での就業体験を高校での修得単位に取り入れるプログラムは、前述のPractical Artsの一部として既に実施されていた。95年に州教育省作成「オフキャンパス教育ガイド」によって改訂され現在の形態となった。

オフキャンパス教育には、次の３つの種類がありそれぞれ目的が異なる。

Work Study:学校内で行われる教科学習の一部として実施される。このプログラムの履修のみで単位が与えられない。例えば、美容(Cosmetology)というCTS科目を履修すると、上級レベルのクラスでは、実際に美容室の現場で２週間から１ヶ月程度の期間実習することが求められる。これが、Work Studyであり、実習での取り組みは美容の単位および評価に組み込まれる。

Work Experience: 職業社会で必要な知識(Knowledge)、技能(Skill)、態度(Attitude)を修得することが目的となる。このプログラムに参加した生徒は、取り組み状況を学校のオフキャンパス担当教員および雇用主の両方によって評価される。25時間の実習で１単位を取得することができるが、州学習省では最低３単位からの履修を認めている。職場で必要となる特定の技能を身につけることではなく、進路探求が主なねらいとなる。

Registered Apprenticeship Program (RAP)：特定の職種に必要な技能を身につけることを目的としたプログラム。Work Experienceと同様に25時間の実習で１単位を取得することができる。詳細は、事項参照のこと。

（6）Registered Apprenticeship Program (RAP)

カナダでトレード(Trade)と分類される技能職に就くために必要となる技能資格 Journeyman's Certificate を取得するためには、それぞれの職種で必要とされる一定のアプレンティスシップ（Apprenticeship)を経て所定の単位を修得しなければならない。RAP は、この見習い期間の一部を高校在学中に履修することを可能としたプログラムである。従って、Work Experience とは異なり、特定の職種で求められる技能を習得することが目的となる。RAP で修得した単位は、アプレンティスシップの一部となるのに加え高校卒業資格取得のための単位として認定される。現在、52のトレードに関連するRAPプログラムが履修可能である。なお、RAPを履修する生徒には、州の最低賃金支給が補償される

（7）One-on-One Interview (Career Counselor)

アルバータ州内の全ての公立高校には、一般教員、管理職、サポートスタッフの他に、カウンセラーが常駐している。カウンセラーの役割は、生徒の就学上の課題や精神的な課題に対するケアから進路相談まで幅広い。そのうち、進路相談についてカウンセラーと生徒の個人面談(One-on-One Interview)の果たす役割が重視されている。州内のいくつかの公立高校では、全ての在学生徒に個人面談を実施している場合もある。調査対象校では、希望する生徒に対して実施している。

## 2　アンケート集計結果

### （1）　調査対象および方法

調査対象は、アルバータ州エドモントン市ジャスパープレイス高校（以下、ＪＰ校）の第12学年に在籍する生徒450名のうちアンケート用紙を配布することのできた217名である。調査を実施した６月は、学年末にあたりすでに卒業所用単位を終えている生徒には配布することが不可能であった。

アンケート調査は、次のような手順で進められた。

・２００３年３月の現地調査で、アルバータ州内３つの高校とアンケート調査の可能性について検討

・アルバータ大学名誉教授Dr. Clarence Preitz の助言を得てアンケート用紙を作成

・ E-mail にて各校にアンケート調査実施の依頼を行った結果、２校が受け入れ可能となる（エドモントン市：Jasper Place High School, メディスンハット市：Medicine Hat High School）

・２校の教頭にアンケート用紙の原稿を郵送し、各校にて複写の後ホームルームの時間を利用し生徒に配布する。

・２００３年８月、回収されたアンケート用紙は全て筆者に返送される。

また、ＪＰ校に加え、Medicine Hat High School を対象として同様のアンケートを実施したが、あらかじめ送付した実施要領どおりに配布されなかったため、今回の集計からは除外することとした。

以下に、アンケートの集計結果を示す。なお、アンケートには自由記述欄がいくつか設定されていたが、記入された回答は少なかった。したがって、質問項目のいくつかについて、今回の集計から省かざるを得なかったことを記しておく。

### （２） 基本データ

①回収率及び有効回答率

| | |
|---|---|
| 総回答数 | 217 |
| 無効回答 | 73 |
| 有効回答 | 144 |
| 有効回答率 | 66% |

無効回答の多くは、全く回答されていないものである。その他に履修している教科科目の名称が正確に記載されていなかったり、回答に不適切な語句や表現が記入されたりしていたものである。また、指示された回答方法を無視して記入されているものについても無効回答に含めている。

②質問項目１：「どの学年に所属していますか」

| | | |
|---|---|---|
| 第10学年 | 0 | 0 |
| 第11学年 | 11 | 8% |
| 第12学年 | 133 | 91% |

配布されたホームルームは、学年が混合しているため第12学年以外の生徒も在籍している。また、年齢が第12学年相当であっても学年が異なる生徒にも配布されている。従って、この項目で第12学年と回答した133名を、本集計結果の対象とする。

③質問項目２：「どのプログラムを履修していますか。」

普通科目において大学入学基準を満たすレベルの科目を履修している生徒はAcademic を選択、それ以外のレベルの普通科目を履修している生徒はGeneral を選択することを意図している。州高校卒業資格(High School Diploma)を取得することができない生徒のためのCertificate of Achievement を取得することを目標とした Integrated Occupational Program (IOP)に所属する生徒は、このアンケート調査には参加していない。

| | | |
|---|---|---|
| Academic | 50 | 38% |
| General | 83 | 62% |
| IOP | 0 | 0% |

④質問項目３：「性別」

| | | |
|---|---|---|
| 男子 | 70 | 53% |
| 女子 | 62 | 46% |
| 無回答 | 1 | 1% |

⑤質問項目４：「年齢」

| | | |
|---|---|---|
| 16歳 | 0 | 0% |
| 17歳 | 69 | 52% |
| 18歳 | 56 | 42% |
| 19歳 | 7 | 5% |
| 無回答 | 1 | 1% |

⑥質問項目５：「高校卒業資格を満たすにあたってどのキャリア・パスウェイを選択しましたか」

| | | |
|---|---|---|
| 就職 | 10 | 8% |
| アプレンティスシップ | 14 | 10% |
| テクニカル・インスティチュート | 14 | 10% |
| コミュニティー・カレッジ | 33 | 25% |
| ４年制大学 | 62 | 47% |

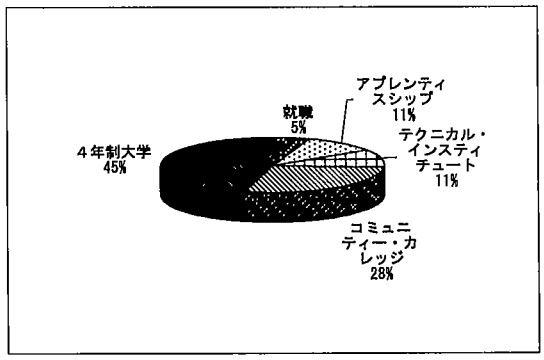
回答の半数近くが４年制大学への進学を選択している。これは、質問項目２のAcademicプログラムの履修を選択した60という数字とほぼ一致する。次に、高い数値を示しているのは、コミュニティー・カレッジへの進学である。また、それらに加えて、テクニカル・インスティチュートを選択した14名を加えると約80%の回答者が、高校卒業後に何らかの形態の中等後教育機関において学習を継続することを希望していることがわかる。

⑦質問項目６：「高校を卒業した後で将来自分が選択することを考えているキャリア・パスウェイはなんですか」

ほとんどの生徒は、質問項目５と同じ選択肢を選んでいるが、項目５で就職を選択し、項目６でコミュニティー・カレッジを選択している回答が４名いる。これは高校卒業後に、すぐに就職した後に中等後教育機関で継続的に教育を受ける意思があることを意味している。更に、４年生大学卒業後に、特定の職業に就くとする回答も見られた。

| | | |
|---|---|---|
| 就職 | 7 | 4% |
| アプレンティスシップ | 14 | 10% |
| テクニカル・インスティチュート | 14 | 10% |
| コミュニティー・カレッジ | 37 | 28% |
| ４年制大学 | 61 | 47% |

**図１　アンケート回答者のパスウェイ**




### （３）　ポートフォリオ

①質問項目７：「あなたは、ポートフォリオを作成しましたか？」

| | | |
|---|---|---|
| Yes | 117 | 88% |
| No | 16 | 12% |

JP校でポートフォリオ作成が全ての生徒に必修となったのは2000年からであり、年齢の高い生徒の中には作成していないと回答している場合が多い。

②質問項目７(a)：「どの学年からポートフォリオの作成を始めましたか？」（項目７でYesと答えた生徒のみ）

| | | |
|---|---|---|
| 第10学年 | 94 | 71% |
| 第11学年 | 18 | 14% |
| 第12学年 | 5 | 4% |

JP校では、第10学年でポートフォリオ作成を開始するためのプログラムが設定されている。

③質問項目８：「あなたは、ポートフォリオをどのように評価しますか。」（複数回答可）

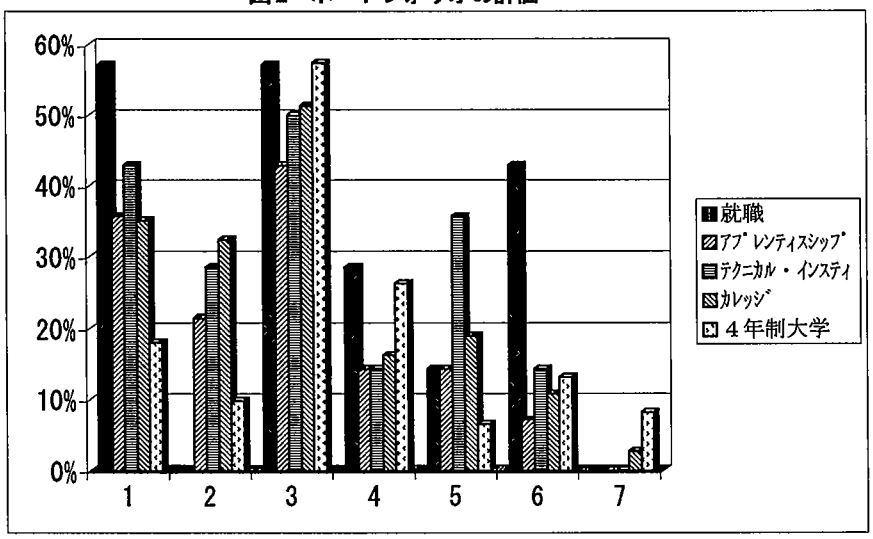
| | |
|---|---|
| １自分を他の人に知ってもらう上で有用 | 39 |
| ２自分が学校で学んだことを認識する上で有用 | 25 |
| ３必修の課題として取り組んだだけ | 71 |
| ４このプロジェクトから得たものはない | 28 |
| ５このプロジェクトにもっと時間をかけたかった | 19 |
| ６このプロジェクトに時間をかけたくなかった | 18 |
| ７その他 | 6 |

多くの回答が選択肢３を選択している。次いで、選択肢１、４、２の順に続いている。

図２は、質問項目６(Career Pathway)の集計結果とクロスさせ各選択項目をパスウェイ毎に何%の回答者がどの選択肢を選んだのかを示すものである。全てのパスウェイで選択肢３が高い数値を示している。それ以外では、４年制大学進学志望者はが選択肢４及び６で他のパスウェイに比較して　高い数値を示している。また、就職志

望者は選択肢1、4，6で目立っている。テクニカル・インスティチュート志望者は、選択肢1，2，5で高い数値を示している。カレッジ及びアプレンティスシップ志望者も同様の傾向を示している。

**図2　ポートフォリオの評価**




④質問項目9：「ポートフォリオをどのように活用しますか。」（複数回答可）

| | |
|---|---|
| 1アルバイト先の雇用主に提示 | 21 |
| 2オフキャンパス教育の受け入れ先に提示 | 19 |
| 3中等後教育機関への入学の際に提示 | 27 |
| 4大学への入学の際に提示 | 9 |
| 5CALMプログラムの課題として作成した | 72 |
| 6その他 | 8 |

多くの回答がCALMの課題として作成していることを示している。次いで、選択肢3が2番目に多い。

**図3　ポートフォリオの活用**

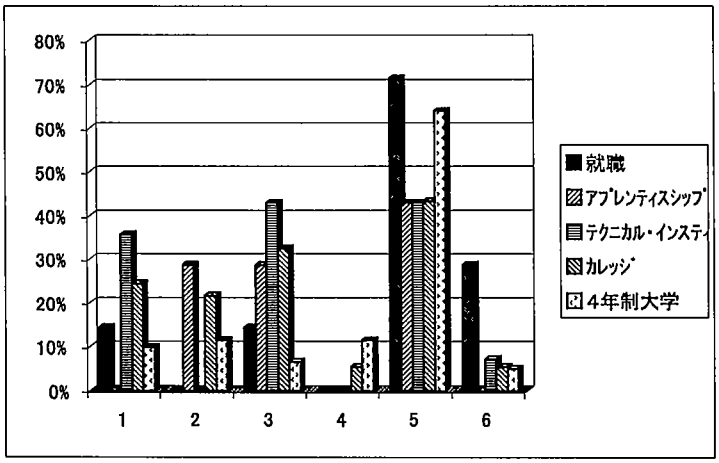



図3は、質問項目6（Career Pathway）の集計結果とクロスさせ各選択項目をパスウェイ毎に何%の回答者がどの選択肢を選んだのかを示すものである。全てのパスウェイにおいて選択肢5の割合が高いが、特に、就職希望者と大学進学希望者の割合が多い。大学以外の中等後教育機関への進学志望者及びアプレンティスシップ志望者で、選択肢3の数値が高い。

（4） Career and Life Management (CALM)

①質問項目 10：「あなたは、CALM をどのように評価しますか。」（複数回答可）

| | |
|---|---|
| 1 様々な進路選択の可能性を認識した | 48 |
| 2 将来の進路設計に対する興味を高めることができた | 46 |
| 3 中等後教育での学習に興味をもった | 34 |
| 4 特定のアプレンティスシップに興味を持った | 11 |
| 5 もっとたくさん時間を費やしたかった | 16 |
| 6 CALM にかける時間はもっと少なくて良かった | 49 |
| 7 この科目が必修科目だったので履修した | 85 |
| 8 この科目に費やす時間をもっとアカデミック科目での学習に当てるべき | 46 |
| 9 私にとってこの科目は意味がなかった | 12 |
| 10 この科目には魅力がなかった | 12 |
| 11 宿題が多すぎる | 18 |
| 12 CALM に出席しなくても自分で学習できる | 44 |
| 13 その他 | 15 |

最も選択された割合が多いのは、選択肢７である。その他の選択肢については、ばらつきが見られる。

図 4 CALM の評価

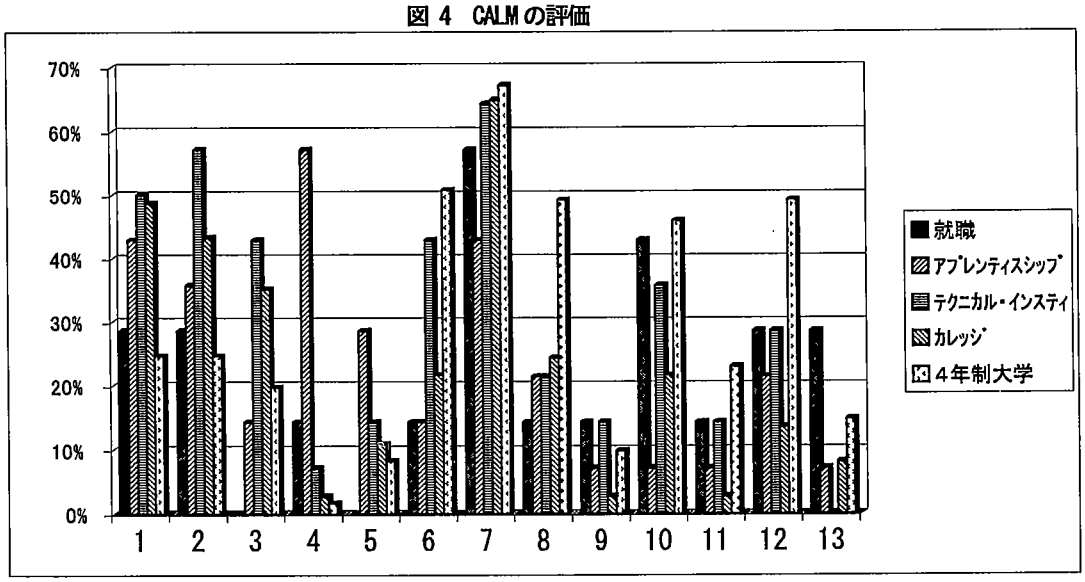



図４は、質問項目６(Career Pathway)の集計結果とクロスさせ各選択肢をパスウェイ毎に何%の回答者がどの選択肢を選んだのかを示すものである。例えば、選択肢１「様々な進路選択の可能性を認識した」に関して言えば、就職希望者の29%がこれを選択していることになる。全てのパスウェイについて選択肢７の割合が高い。それ以外の選択肢では、大学進学志望者が、選択肢６，８，10、12で高い値を示している。就職志望者は、選択肢10及び12で高い数値を示している。テクニカル・インスティチュート志望者は、選択肢１，２、３、６で目立っている。カレッジ志望者は、選択肢１，２、３で高い数値を示している。アプレンティスシップ志望者は、選択肢１，２，５で高い数値を示している。

②質問項目１１：「CALM の課題の中で、キャリア・パスウェイ選択に最も役に立ったと思われるものを書きなさい。」

③質問項目１２：「CALM の課題の中で、キャリア・パスウェイ選択に最も役に立たなかったと思われるものを書きなさい。」

項目１１および項目１２の CALM の課題で役に立ったものと立たなかったものを自由記述で回答させるものから、特に目立った点をあげる。役に立つものとしてあげられていたのは、進路探求にかかわる適性検査やインターネットを使用した職業探求の授業が多かった。それに対して、性教育や家庭生活などの授業を役に立たないものとしてあげている回答が多かった。

（５） Career and Technology Studies (CTS)

①質問項目 13：「あなたは、CTS を履修しましたか。」

| | | |
|---|---|---|
| Yes | 110 | 82% |
| No | 22 | 16% |
| 無回答 | 1 | 1% |

82%の回答者が CTS を履修したことを示している。

**図５ 各パスウェイに占める CTS 履修者の割合**

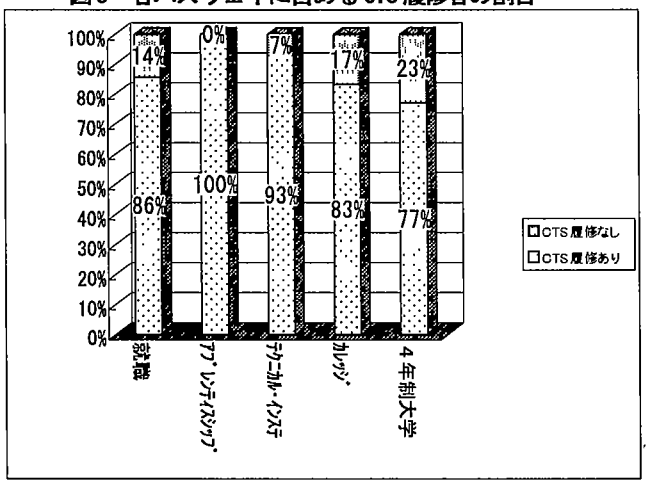



図５は、質問項目６Career Pathway の集計結果とクロスさせ、パスウェイ毎に何%の生徒が CTS を履修しているかを示したものである。各パスウェイにおいて４分３の以上が CTS を履修していることがわかる。特に、アプレンティスシップ志望者は、全員が履修している。さらに、４年制大学進学志望者の 76%が CTS を履修している。

②質問項目 13(a)：「どの学年で CTS を履修しましたか。」（複数回答可）

| | | |
|---|---|---|
| 第 10 学年 | 102 | 85% |
| 第 11 学年 | 74 | 62% |
| 第 12 学年 | 60 | 50% |

学年が進行するに従って CTS 履修者の数が減少している。

③質問項目 13(b)：「あなたは CTS をどのように評価しますか。」（複数回答可）

| | |
|---|---|
| １後の人生で有用となる技術(Skill)を高めることができた | 83 |
| ２職場で必要となる態度や知識を得ることができた | 44 |
| ３職業に関連するアカデミック科目への興味が高まった | 30 |
| ４高校卒業後の学習に対する興味が高まった | 42 |
| ５アプレンティスシップへの興味が高まった | 17 |
| ６その他 | 7 |

一番高い数値を示しているのは、選択肢１である。次いで、選択肢２の順となっている。

**図6　CTSの評価（パスウェイ別）**

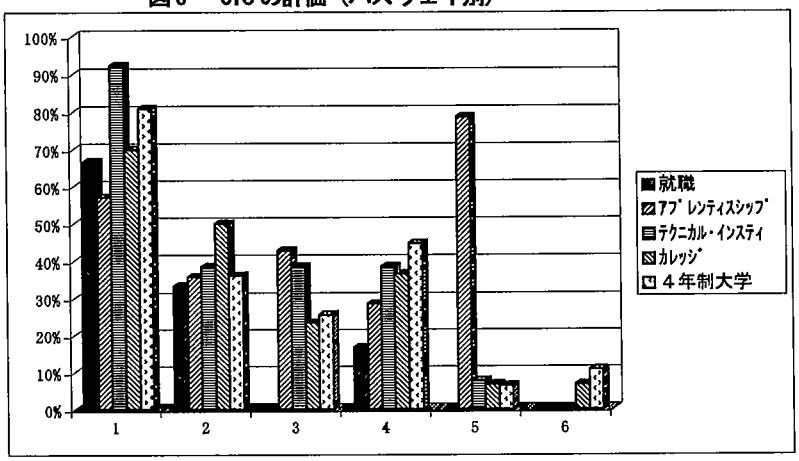



図６は、パスウェイ毎のCTS 履修者が、どの選択肢を何%選んだかを示している。例えば、就職志望者で選択肢１を選んだ者は、就職志望のCTS履修者中の 67%であることを示している。全てのパスウェイで選択肢１の割合が大きいが、アプレンティスシップ志望者では、選択肢５が目立っている。大学、カレッジ、テクニカル・インスティチュートへの進学志望者では、選択肢４の割合も高い。また、選択肢３では、アプレンティスシップ及びテクニカル・インスティチュート志望者の割合が他に比べて目立っている。

④設問13(f)：「何故、CTSを履修しなかったのですか」（複数回答可）

| | |
|---|---|
| 1 CTSがこの学校で開講されていることを知らなかった | 6 |
| 2 CTSは大学入学に必要とされていない | 4 |
| 3 履修したかったが、時間割に余裕がなかった | 4 |
| 4 CTSを履修することに興味がなかった | 10 |
| 5 職場で要求される技術は、高校卒業後でも高めることができるから | 4 |
| 6 その他 | 0 |

最も高い数値を示しているのは、選択肢４である。次いで、選択肢１が続く。

### （6）　オフキャンパス教育（RAP以外）

①質問項目14：「オフキャンパス教育を履修したことがありますか」

| | | |
|---|---|---|
| Yes | 23 | 17% |
| No | 108 | 81% |
| 無回答 | 2 | 2% |

履修したと答えた回答者の数は１７%である。

②質問項目14(a)：「どのプログラムに参加しましたか」

| | |
|---|---|
| Work Study | 10 |
| Work Experience | 13 |

Work Study,　Work Experienceともに１０名程度の履修者である。

③質問項目 14(b)：「オフキャンパス教育をどのように評価しますか。」（複数回答可）

| | |
|---|---|
| 1 進路探求の機会を得た | 13 |
| 2 付加的な技術(Skill)を高める機会を得た | 14 |
| 3 職場で要求される態度を認識することができた | 15 |
| 4 職業社会に関連するアカデミック科目の重要性を認識した | 9 |
| 5 仕事に必要な教育を認識することができた | 10 |
| 6 もっと多くの時間をオフキャンパスに当てたかった | 8 |
| 7 高校の単位を取得できると同時に給料もえることができた | 6 |
| 8 その他 | 1 |

一番高い数値を示しているのは、選択肢３である。次いで、選択肢２、１と続いている。

④質問項目１４(e)：「なぜ、オフキャンパス教育を履修しなかったかのですか。」（複数回答可）

| | |
|---|---|
| 1 この学校でオフキャンパス教育が開講されていることを知らなかった | 41 |
| 2 このプログラムには何の利点も見いだせない | 28 |
| 3 履修したかったが、時間がなかった | 16 |
| 4 大学入学には必要とされていない | 24 |
| 5 このプログラムを履修するならアルバイトの方がいい | 42 |
| 6 私を受け入れてくれる職場を見つけることができなかった | 1 |
| 7 その他 | 3 |

最も高い数値を示しているのは、選択肢５である。次いで、選択肢１が２番目に高い数値を示している。

（7） Registered Apprenticeship Program

①質問項目 16：「現在 RAP プログラムに登録していますか。」

| | | |
|---|---|---|
| Yes | 2 | 1% |
| No | 131 | 97% |

Yes と答えた２名で、質問項目６のパスウェイでアプレンティスシップを選択した生徒とテクニカル・インスティチュートを選択した生徒である。

②質問項目 16(b)：RAP をどのように評価するか？（複数回答可）

| | |
|---|---|
| 1 高校の単位を取得すると同時に給料がもらえる | 1 |
| 2 職業社会で要求されている付加的な技術を身につけた | 2 |
| 3 職場で要求される態度を認識することができた | 2 |
| 4 仕事に必要な教育を認識することができた | 2 |
| 5 もっとたくさんの時間を RAP にあてたかった | 0 |
| 6 その他 | 0 |

「給料がもらえる」を選択している回答も見られるが、技術、態度、必要な教育に対する認識を高めたと回答している。

③質問項目 16(c)：どの学年から RAP を始めたのか？

| | |
|---|---|
| 第 10 学年 | 1 |
| 第 11 学年 | 1 |
| 第 12 学年 | 0 |

**④質問項目 16(e)：「なぜ RAP を履修しなかったのですか。」（複数回答可）**

| | |
|---|---|
| 1 この学校で RAP が開講されていることを知らなかった | 52 |
| 2 自分の進路を決めていない | 21 |
| 3 アプレンティスにはなりたくない | 38 |
| 4 大学入学では必要とされない | 23 |
| 5 ホワイトカラー労働者になりたいと考えている。 | 13 |
| 6 このプログラムには何の利点も見いだせない | 19 |
| 7 同じ内容のプログラムに高校卒業後に参加することができる | 4 |
| 8 その他 | 16 |

多くの回答が、選択肢１を選択している。次いで、選択肢３が２番目に多い数値を出している。選択肢８の「その他」には、「高校卒業後にすぐアプレンティスシップに参加する」、「テクニカル・インスティチュートに進学してから参加する」、「RAP は自分が考えているパスウェイとは異なる」、「RAP が何を意味するのかわからない」などの記述が見られた。

## （８） 進路選択

①質問項目 18：「第 10 学年の時から現在までであなたの進路志望(Pathway)に何か変化がありましたか」

| | | |
|---|---|---|
| Yes | 69 | 52% |
| No | 64 | 48% |

半数の回答者が Yes としている。

②質問項目 19：「あなたのキャリア・パスウェイに関する情報を提供するためのキャリアカウンセラーとの面談の機会はありましたか。」

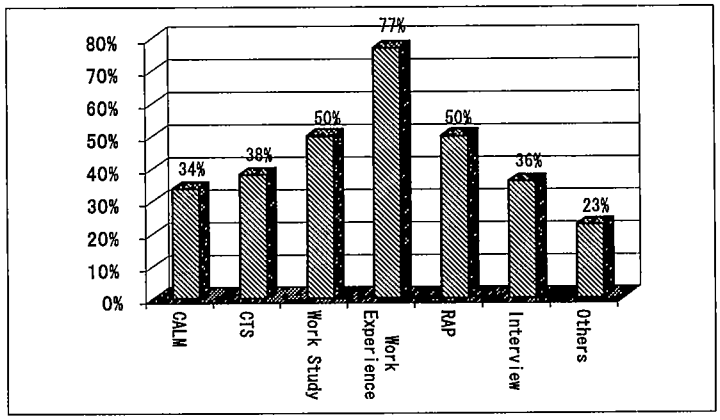
| | | |
|---|---|---|
| Yes | 50 | 38% |
| No | 81 | 61% |
| 無回答 | 2 | 1% |

Yes の回答者は 38%である。

③質問項目 20：「次のうちどのプログラムがあなたの進路選択に大きな影響を与えましたか。」

| | |
|---|---|
| CALM | 45 |
| CTS | 42 |
| Work Study | 5 |
| Work Experience | 10 |
| RAP | 1 |
| one-on-one interview | 18 |
| other career event | 30 |

**図７ 進路選択に影響を与えたプログラム（履修者に占める割合）**




一番高い数値を示しているのは、CALM である。次いで CTS の順である。複数回答ではなく、項目を一つだけ選択して回答することを意図していたが、多くの回答者が複数の選択をしているので、上の表はそのままの数字である。

図７は、質問項目 13、14、16、19 で示された各プログラムの履修者数の集計結果とクロスさせ、それぞれのプログラムを履修した生徒のうち何%の生徒が進路選択に役立つと答えているかを示したものである。例えば、CTS は履修者数 110 名のうちの 38%が進路選択に影響を与えたと答えている。なお、CALM の場合は、全員必修なのでアンケートの集計対象者数 133 名に対する割合である。また、Others も同様に 133 名に対する割合で算出してい

る。一番高い数値を示しているのは、Work Experience であり、次いで Work Study である。次に CTS, Interview の順になっている。Others には、中等後教育機関主催の説明会への参加などが含まれる。

④質問項目 21：「進路選択の際に誰に相談しますか」

| | |
|---|---|
| 友人 | 65 |
| 親 | 106 |
| 教員 | 39 |
| 教頭、校長 | 9 |
| カウンセラー | 25 |
| その他 | 19 |

親、友人に次いで多いのは教員である。

⑤質問項目 22：「あなたの学校で開講されている進路選択に関連するプログラムに満足していますか」

| | | |
|---|---|---|
| きわめて満足している | 21 | 16% |
| とても満足している | 21 | 16% |
| 満足している | 61 | 47% |
| 不満である | 12 | 9% |
| きわめて不満である | 9 | 6% |
| その他 | 9 | 6% |

80%近い生徒が、満足を示していることがわかる。その他の欄には、「自分の進路に関する情報が提供されなかった」という回答が含まれている。

## 3　集計結果のまとめ

これまでのアンケート集計結果に対する考察を試みる。特に生徒のパスウェイと STW プログラムとの関連について特徴を示す質問項目を中心に取り上げて検討する。

### （1）ポートフォリオ

質問項目８で得られた生徒によるポートフォリオ・プロジェクトの評価では、パスウェイ毎に各選択肢を選んだ生徒の割合を示した図２のグラフからいくつかの特徴を読みとることができる。質問項目の内容から、選択肢３「必修の課題として取り組んだだけ」を中立の評価とし、選択肢１，２，５を肯定的な評価、選択肢４と６を否定的な評価として検討すると次のような点を指摘することができる。

①就職志望者の評価には、肯定、否定の二極化が見られる。

就職志望者は、ポートフォリオの評価について選択肢１「自分を他人に知ってもらう上で有用」を選択しているパスウェイ群でもっとも高い値を示しているが、同時に選択肢４「このプロジェクトから得たものはない」及び選択肢６「このプロジェクトに時間をかけたくなかった」でも高い値を示している。

②大学進学志望者の評価は概して否定的である。

大学進学志望者の評価は、選択肢４及び６で他の選択肢よりも高い数値を示している。

③大学以外の中等後教育機関進学志望者及びアプレンティスシップ志望者の評価は、概して肯定的である。

質問項目９に関連してパスウェイ毎のポートフォリオ活用方法を示した図３のグラフからは、この傾向を裏付ける特徴が見られる。就職志望者と大学進学志望者は、選択肢５「CALM プログラムの課題として作成した」で高い値を示している。それに対して、テクニカル・インスティチュート及びカレッジへの進学志望者は、選択肢１「アルバイト先の雇用主に提示」、２「オフキャンパス教育の受け入れ先に提示」、３「中等後教育機関への入学の際に提示」といった積極的活用を示す項目で高い値を示している。

JP 校で作成された生徒向けの案内文書によると、ポートフォリオ作成のねらいは、学習の成果を記録すること

で自己を認識し、他者に自分の経験と能力を提示することにある。同文書は、ポートフォリオを社会における"Marketing Tool"と記している。課題は、このMarketing Toolを社会でどのように活用することができるのかという点である。

エドモントン市内のカレッジの1つであるGrant MacEwan Collegeでは、特定のコースへ入学を希望する場合に、履歴書(resume)、その分野に関する作文、就業体験を証明する書類、自分史などの参考書類の提出を求めている。これらの書類は、高校在学時に作成したポートフォリオに添付されるものである。中等後教育機関への出願書類に添付するといった具体的な用途は、カレッジ及びテクニカル・インスティチュート志望者がポートフォリオ作成を高く評価している理由の1つであると考えられる。就職志望者の二極化及び大学進学志望者の否定的評価の説明については、さらなるデータを得なければならない。しかし、ポートフォリオを活用する場の提示がこのプロジェクトに対する生徒の積極的評価に結びついているといえる。この点で、STW プログラムにおけるポートフォリオ作成の有用性が見いだされる。

### (2) Career and Life Management(CALM)

上のポートフォリオと同じような傾向がCALMに関する集計結果からも読みとることができる。質問項目10で与えられた選択肢は、7「この科目が必修科目だったので選択した」を中立の評価とし、選択肢1から5までを肯定的評価、6及び8から12までを否定的評価と分類できる。この分類に即して集計結果を検討すると、大学進学志望者と就職志望者が否定的評価をしている割合が高いのに対して、大学以外の中等後教育機関進学志望者およびアプレンティスシップ志望者は、肯定的な評価を示している。

図4のグラフにもとづいてパスウェイ別に、選択した項目の内容を整理すると、次のような特徴を指摘することができる。

①大学進学志望者は、CALMの内容に有用性を見いだしていない。

大学進学志望者の選択肢を整理すると選択肢6「CALMにかける時間はもっと少なくて良かった」、8「この科目に費やす時間をもっとアカデミック科目の学習に当てるべき」、10「この科目には魅力がない」、12「CALMに出席しなくても自分で学習できる」といった評価が多い。

②大学以外の中等後教育進学志望者及びアプレンティスシップ志望者は、CALMが有用であると評価している。

カレッジ、テクニカル・インスティチュート、アプレンティスシップ志望者の選択肢を整理すると、否定的な評価を示す選択肢10及び12でテクニカル・インスティチュート志望者の割合が多く見られる部分もあるが、選択肢1「様々な進路選択の可能性を認識した」、2「将来の進路設計(Career Planning)に対する興味を高めることができた」、3「中等後教育機関での学習に興味をもった」などの回答が多い。アプレンティス志望者では、4「特定のアプレンティスシップに興味を持った」、5「もっと時間を費やしたかった」という回答が目立っている。

③就職志望者は、大学進学志望者と同様にCALMの有用性に否定的な傾向が見られる。

就職志望者の回答を見ると選択肢1、2を選んだ回答も見られるが、多くは否定的な評価を示す10、11、12で高い割合を示している。

すでに述べたように、JP校ではポートフォリオの作成とCALMは、Career Directionsという3年間連続したプログラムの中に位置づけられている。CALMの学習内容は、Personal Choices, Resource Choices, Career and Life Choicesの3つの分野を含んでいる。これらの分野での学習を通じて自己認識、自己理解を深め自分に対する自信を高め、将来の人生設計を構築することがねらいである。具体的な学習内容として、キャリア研究、キャリア探求などがある。

CALMに否定的評価を示した就職志望者及び大学進学希望者は、このようなCALMの学習内容に意義を見いだしていないといえる。CALMに肯定的評価を示したアプレンティスシップ志望者は、高校卒業までに具体的な職種を決定しなければならない。また、カレッジやテクニカル・インスティチュートでは、具体的な職種に移行するためのプログラムが展開されている。したがって、この2つのグループもまた、高校卒業までに中等後教育機関で

自分が所属するコースを決定するためにキャリア探求が必要となる。肯定的評価を示した３つのパスウェイ群は、CALMの学習活動に参加することによって、進路選択の可能性を認識し、進路設計と高校卒業後の学習に対する興味を高めたのである。

（３）Career and Technology Studies (CTS)

質問項目13の結果から、CTSを履修した生徒は全回答者の82%を示している。既に説明したとおりCTS科目は、選択科目である。したがって、履修することを選択した時点で積極的な動機を有していると言える。

図５から、全てのパスウェイで４分の３以上がCTSを履修していることがわかる。アプレンティスシップについては、志望者全員がCTSを履修している。ポートフォリオやCALMでは否定的な評価を示していた就職志望者は、ここではアプレンティスシップ及びテクニカル・インスティチュート志望者に次ぐ値を示している。更に、大学進学希望者においても76%の生徒がCTSを履修しているという結果が得られた。質問項目13(a)では、CTSの履修学年が示されている。この表からは、学年が進行するに従って履修者が減少していることがわかる。これは、多くの生徒は初級レベルあるいは入門レベルの授業を履修していると推測する。

CTSの評価に関する質問項目13(b)からは、CTSの高い履修率を裏付ける結果が得られている。アプレンティスシップ志望者を除く全てのパスウェイ群が、選択肢１「後の人生で有用となる技術(Skill)を高めることができた」で一番高い数値を示している。アプレンティスシップ及びテクニカル・インスティチュート志望者は、選択肢３「アカデミック科目への興味が高まった」を多く選んでいる。アプレンティスシップ志望者は、選択肢５「アプレンティスシップへの興味が高まった」でもっとも高い数値を示している。CTS 履修に関する質問項目の集計結果から読み取ることのできる特徴を以下にまとめる。

①全てのパスウェイにおいてCTS履修率が高い

大学進学志望者の割合が、77%と他のパスウェイに比較して低くなっているが、CTS が選択科目であることを考えると、履修率は高いといえる。

②初級レベル、入門レベルのCTS科目を履修している例が多い。

③大学進学志望者及び就職志望者はCTS履修によって技術 (Skill) が高められたと評価している

④大学以外の中等後教育機関進学志望者は、CTS履修によって高校卒業後の学習に対する興味が高まった

CTSに関する分析結果は、既に述べたポートフォリオやCALMの場合と異なり、パスウェイ間にそれほど大きな優位差が見られないことがわかる。すなわち、全てのパスウェイ群でCTSに対する積極的な動機付けを有していると考えられる。これは、「全ての生徒を対象とする」というCTSのねらいと合致する結果である。また、CTSの履修によってアカデミック科目への興味が高まったとする回答から、STW プログラムの要素の１つである「アカデミック教育と職業教育の統合」の可能性を見ることができる。

（４）オフキャンパス教育(RAP以外)

質問項目14から、RAP以外のオフキャンパス教育を履修する生徒の数は、17%にとどまっている。この理由を示す質問項目 14(e)から、オフキャンパス教育に対する認識の低さを指摘することができる。選択肢５「このプログラムを履修するならアルバイトの方がいい」という回答が42名と最も高い数値を示している。選択肢１「この学校でオフキャンパス教育が開講されていることを知らなかった」が続いて高い値を示している。JP 校では、専任のオフキャンパス・コーディネータが常駐しているが、全ての生徒には認知されていないと言うことが集計結果から明らかとなった。この点は、今後改善される必要があると考える。また、選択肢４「大学入学には必要ない」という回答が24名という値を示している。前述したCTSも大学入学には関係ないという点では同様であるが、それとは異なる傾向を示している。

履修した生徒の評価に関する質問項目14(b)では、選択肢３「職場で要求される態度を認識することができた」が、15 名という数値を示し最も高くなっている。次いで、選択肢２「付加的な技術(Skill)を高めることができた」13名、選択肢１「進路探求の機会を得た」13名と続いている。また、進路選択に影響を与えたプログラムを

問う質問項目 20 に関連して、各プログラムの履修者に占める割合を示す図７からは、Work Experience と Work Study の２つの項目が最も高い数値を示している。特に Work Experience は履修した生徒の 77%が、自分の進路決定に影響を与えたと回答している。

オフキャンパス教育に関する集計結果をまとめると、プログラムに関する認識は低いが、履修した生徒の高い割合で有用性を感じているといえる。

### （5）Registered Apprenticeship Program (RAP)

質問項目 16 で問うた RAP の履修者は２名であった。すでに、説明したとおり RAP は特定のトレード職に移行するのに必要なアプレンティスシップの一部となるプログラムである。従って、高校在学中に具体的な職種へすすむことを決定した生徒でなければ履修することはできない。その点から考えると、それほど人数が増えることは期待できない。

RAP を履修しなかった理由を問う質問項目 16(e)では、選択肢１「この学校で RAP が開講されていることを知らなかった」とする回答が 52 名で一番高い。しかし、続いて多い回答は選択肢３の「アプレンティスにはなりたくない」の 38 名である。また、その他の欄の自由記述からは、「高校卒業後にアプレンティスシップに参加する」、「テクニカル・インスティチュート」に進学してから参加するといった回答も見られた。

以上の点から、RAP については、上述の RAP 以外のオフキャンパス教育と同様に、生徒の認知度の課題がある。しかし、RAP の位置づけから考えると、履修が少人数に限られるのは妥当であるといえる。アルバータ州では、企業側から、このアプレンティスシップ分野での人材不足が指摘され、高校生の RAP への関心を高めるための宣伝、広報活動を実施している。職業選択の幅を広げるという点から RAP の存在価値がある。

### （6）まとめ

以上５つの項目についてパスウェイとの関連を踏まえながら集計結果の分析と考察を行った。その結果から、Career Direction に位置付くポートフォリオと CALM の２つのプログラムでは、就職志望者と大学進学志望者への対応として課題点が指摘されたが、それ以外のパスウェイ群では、プログラムのねらいに合った評価結果が提示された。新たな職業教育プログラムである CTS については、全てのパスウェイ群で積極的な評価を得ることができた。CTS がアルバータ州における STW プログラムの中心的な役割を果たしているといえる。３つのオフキャンパス教育 Work Study, Work Experience, Registered Apprenticeship Program の集計結果からは、十分な参加者を得ることはできなかったが、履修した生徒の進路決定に強く影響を与えていることが明らかとなった。

これまでの分析結果から、生徒の進路選択と高校における STW プログラムとの関連について注目すべき要素の１つは、学習の連続性である。生徒は、高校卒業後の人生に連続する学習内容に興味を示し、自分の進路選択と関連がないものには興味を示さないという傾向がみられた。例えば、ポートフォリオや CALM などの進路探求学習において肯定的な評価を示した大学以外の中等後教育機関を志望する生徒は、これらの学習成果が高校卒業後に役立つことを認識していた。また、CTS では、全てのパスウェイ群が「後の人生で必要となる技術(Skill)を高めることができた」と回答していた。生徒は高校卒業後に学習内容が連続すると認識できるプログラムについて肯定的評価をしているといえる。ここに、STW プログラムの高校教育改革における役割の重要性が見られるといえる。

《参考文献》
岩木秀夫 (2001)「学校から職業への移行-その日本的構造と展望-」、矢島正見、耳塚寛明編、『シリーズ 職業とライフスタイル６：変わる若者と職業世界：トランジッションの社会学』、学文社、pp. 4-22

岡部敦 (2002)、「カナダ・アルバータ州における高校教育改革-School Career Transitions Intiative の成立とそのカリキュラムに関する考察」、『北海道大学大学院教育学研究科紀要第８５号』、pp. 251-274

Alberta Council on Admissions and Transfer (1999), Alberta Transfer Guide 1999-2000 24th edition: a Guide to Transfer Credit at Alberta Post-Secondary Institutions

Alberta Education (1984), Review of Secondary Programs – Report of the Mnister's Advisory Committee: Foundation for the Future Norton W. Grubb (1996), Learning to Work: the case for reintegrating job training and education, Russell Sage Foundation, pp108-109

Wolfgang Lehmann & Alison Taylor (2003), Giving Employers What They Want? New Vocationalism in Alberta, *Journal of Education and Work, Vol. 16, No. 1*, 2003

Alberta Education (1995), Off-Campus Education Guide for Administrators, Counsellors and Teachers

Alberta Education (1998), Career and Technology Studies Program Rational and Philosophy, Alberta Education

Alberta Learning(1999), Guide to Education; ECS to Grade 12,

Clarence Preitz (1994), 'Apprenticeship Training from a Provincial Perspective: Alberta', "High School to Employment

Transition: Contemporary Issues" Edited By Albert Pautler, Jr., Prakken Publications

Curriculum Design Branch (1989), "Practical Arts Project, Proposed Directions For Change – A Vision For Practical Arts Programs in Secondaqry Schools in Alberta", Alberta Education

Jasper Place High School (2003), 2003-2004 Registration Guide

Jasper Place High School (2002), Post-Secondary Requirements

**《参考資料：配布したアンケート用紙》**

# SCHOOL CAREER TRANSITIONS IN SELECTED ALBERTA HIGH SCHOOLS

## FOR YOUR INFORMATION

Your school has been selected to be part of the research because of the excellent school to career transitions program the school offers its students.

The purpose of the research is to bring about educational change in the system of education in Japan by analyzing the component of the school to career transitions that are part of high school education in Alberta

From data collected the researcher will have the needed information that will help determine in what grade is most appropriate for a Japanese student to make a career decision and what assistance they will need to make that decision.

As a student you were selected to be involved in the research by providing your reaction to the school career transition program offered by your school.

To complete the statements on the questionnaire should take no more than twenty minutes of your time.

It is your privilege not to become involved in the research. Should you elect to do so, please make a note to that effect across the first page of the questionnaire.

Thank you for your cooperation.

## DIRECTION TO THE STUDENT:

You are requested to fill in the questionnaire by providing complete and accurate responses to each statement that is asked.

Where a box "❑ "is provided, you are to place 'x' in the appropriate box. ☒

Where a line_____ is provided for a response, you are requested to provide a short descriptive statement for the statement asked.

Should you want to change any response at any time you may do so by filling in "■ "the incorrect response and make another choice.

**YOUR EDUCATIONAL BACKGROUND**

1. What is your grade level?
   - ❑ Grade 10
   - ❑ Grade 11
   - ❑Grade 12

2. In what program are you enrolled?
   - ❑Academic
   - ❑General
   - ❑Tech-Prep
   - ❑Vocational Preparation

3. I am a
   - ❑Male
   - ❑Female

4. I am
   - ❑16 years of age
   - ❑17 years of age
   - ❑18 years of age
   - ❑19 years of age
   - ❑20 years of age

5. What career pathway have you selected to prepare you for a career as you complete the requirement for high school graduation? CHECK ONE.
   - ❑Work
   - ❑Apprenticeship
   - ❑Technical Institute
   - ❑Community College
   - ❑University

6. Following high school graduation, what career pathway do you think you will follow? Check one, only.
   - ❑Work →Specify;_____
   - ❑Apprenticeship →Trade; _____
   - ❑Technical Institute →Program;_____
   - ❑Community College →Program;_____
   - ❑University →Faculty;_____

**PORTFOLIO**

7. Have you prepared Portfolio?
   - ❑YES (If YES, please respond to statement 7(a))
   - ❑NO

   →7(a). In what grade did you start preparing your portfolio?
   - ❑Grade 10
   - ❑Grade 11
   - ❑Grade 12

8. How would you evaluate the portfolio project? CHECK AS MANY THAT APPLY.
   - ❑It was useful to demonstrate myself to other people
   - ❑It was useful to realize what I learned in my school
   - ❑I made it because it was a required assignment
   - ❑I don't gain any benefit from doing this project
   - ❑I wanted to spend more time on this project
   - ❑I wanted to spend less time on this project
   - ❑Others (Specify:_____)

9. Of what use to you will the portfolio be? CHECK ONLY THOSE STATEMENTS WHICH APPLY.
   - ❑Present it to the employer of my part-time job

❑Present it to the employer of my work study / work experience program
❑Present it to a post-secondary institution for admission
❑Present it to a university for admission
❑Only to fulfill the requirement for the CALM course
❑Others (Specify:_____)

CAREER AND LIFE MANAGEMENT (CALM)

10. How would you evaluate the CALM course? CHECK AS MANY THAT APPLY.

❑I could find various career options
❑I could develop my interest to help determine a future career
❑I could further develop my interest in post-secondary education
❑I could further develop my interest toward a specific apprenticeship program
❑I wanted to spend more time in the CALM class
❑I wanted to spend less time in the CALM class
❑I took this course just because it was mandated for all grade 10 or 11 students
❑I prefered to have more time for my academic courses
❑This course didn't make any sense to me
❑I wasn't attracted to the course
❑This course had too many assignments
❑I could do self-study without attending the CALM class
❑Others (Specify: _____ )

11. What CALM assignment did you consider to be MOST beneficial to you in helping you to determine which career pathway to follow? Please specify;

_____

12. What CALM assignment did you consider to be LEAST beneficial to you in helping you to determine which career pathway to follow?
Please specify;

_____

CAREER AND TECHNOLOGY STUDIES (CTS)

13. Were you ever enrolled in a CTS course?

❑YES (If YES, please respond to statement 13(a), (b), (c), (d)&(e))
❑NO (If NO, please proceed to 13(f))

→13(a). In what grade did you take the CTS course?

❑Grade 10
❑Grade 11
❑Grade 12

→13(b). How would you evaluate the CTS Course? CHECK THOSE STATEMENTS WHICH APPLY

❑I could develop technical skills that I would be able to use later.
❑I could develop an understanding and the attitudes needed at a work site.
❑I developed an interest in academic subjects related to a trade.
❑I developed an interest toward furthering my education
❑I developed an interest toward an apprenticeship program

❑Others (Specify: _____ )

→13(c). Please list the strand(s) you completed as a CTS student.

_____

→13(d). Please list the modules in the strand(s) in the CTS course you completed.

_____

→13(e) Please list the number of CTS credits you have accumulated toward graduation.

Number of CTS credits: _____

→13(f) Why weren't you enrolled in a CTS course? CHECK AS MANY STATEMENTS THAT APPLY

❑I didn't know CTS course offered in my school.

❑CTS course is not required for university admission

❑I wanted to take it, but there was no time in my schedule to take a CTS course

❑I did not have any interest in taking a CTS course

❑I can develop the technical skills required for my career choice either in a post-secondary school or in the world of work

❑Others (Specify:_____)

**OFF-CAMPUS EDUCATION (Other Than RAP)**

14. Were you ever involved in a part of OFF-CAMPUS EDUCATION?

❑YES (If YES, please respond to 14(a), (b), (c),&(d))

❑NO (If NO, please respond to 14(e))

→14(a). What part of OFF CAMPUS EDUCATION were you involved?

❑Work Study →Course ( )

❑Work Experience

→14(b). How would you evaluate your experience in OFF-CAMPUS EDUICATION? CHECK THOSE STATEMENTD THAT APPLY

❑I had the chance to explore my career choice

❑I had the opportunity to develop additional technical skills

❑I became aware of the attitudes required at the work site

❑I recognized the importance of the academic subjects as they relate to the world of work

❑I recognized the relationship education has to work

❑I wanted to spend more time with OFF-CAMPUS EDUCATION

❑I could earn high school credits and money at the same time.

❑Others (Specify:_____)

→14(c). Please list the number of credits in OFF CAMPUS EDUCATION you earned as a high school student.

Number of Credits;_____

→14 (d). Describe briefly the working experience you had at your most recent work site. _____

→14(e). I wasn't involved in OFF-CAMPUS EDUCATION. CHECK ONLY THOSE STATEMENTS THAT APPLY

- ❑I didn't know that my school offered OFF CAMPUS EDUCATION
- ❑I didn't find any benefit from this program
- ❑I wanted to take it, but I didn't have enough time in my schedule
- ❑It was not required for university entrance
- ❑I would rather work part-time than taking this program
- ❑I couldn't find any work-site that would accept me
- ❑Others (Specify:_____)

15. At your school how could OFF CAMPUS EDUCATION be improved

_____

REGISTERED APPRENTICESHIP PROGRAM (RAP)

16. Are you presently registered in RAP which is offered at your school?

❑YES (If YES, Please complete statement 16(a), (b), (c)&(d))

❑NO (If NO, Please complete statement 16(e)

→16(a). Please identify the trade in which you are registered

Trade: _____

→16(b). How would you evaluate RAP at your school? CHECK THOSE STATEMENTS WHICH APPLY

- ❑It is good because I could earn while learn
- ❑I could develop additional technical skills required of the trade
- ❑I became aware of the attitudes required at the work site
- ❑I recognized the relationship that education has to work
- ❑I wanted to spend more time on RAP
- ❑Others (Specify:_____)

→16(c). In what grade did you first register as a RAP student?

- ❑Grade 10
- ❑Grade 11
- ❑Grade 12

→16(d). List the number of credits you accumulated toward your first year apprenticeship.

Number of credits: _____

→16(e) Why you aren't registered in RAP? CHECK THOSE STATEMENTS WHICH APPLY

- ❑I didn't know that RAP was offered at this school
- ❑I haven't decided my career choice
- ❑I do not want to be an apprentice
- ❑It is not required for university entrance
- ❑I want a career as a white-collar worker
- ❑I did not find any benefit from this program
- ❑I can take the same type of program after I graduate from high school

❑Others: (Specify:_____)

17. At your school how could RAP be improved?

_____

**YOUR CAREER CHOICE**

18. Have you modified or changed your career pathway from what it was in Grade 10?

❑YES (If YES, Please complete statement 18(a)

❑NO

→18(a). What change or modification did you make?

_____

19. Were you given an opportunity to have a one-on-one interview with a career counselor in your school to provide you with information to assist you with your career pathway?

❑Yes (If YES, Please complete statement 19(a))

❑No

→19(a). If YES, Please list the type of information that you were provided with.

_____

20 What course or part of a course had the greatest influence on your career planning that you believe will lead to your career pathway?

❑CALM

❑CTS

❑Work Study

❑Work Experience

❑RAP

❑one-on-one interview with counselor

❑other career event (Specify: _____ )

21. Who did you always consultwith to help you with your career choice?

❑Friend(s)

❑Parent(s)/Guardian(s)

❑Teacher(s) at my school

❑Administrator(s) at my school

❑Counselor at my school

❑Others (Specify: _____)

22. Are you satisfied with the program related to your career choice offered at your school?

❑Quite satisfied

❑Very Satisfied

❑Satisfied

❑Dissatisfied

❑QuiteDissatisfied

❑Others (Specify: _____)

Give a reason for the above?

_____